

子育て応援特別手当が 交付されます

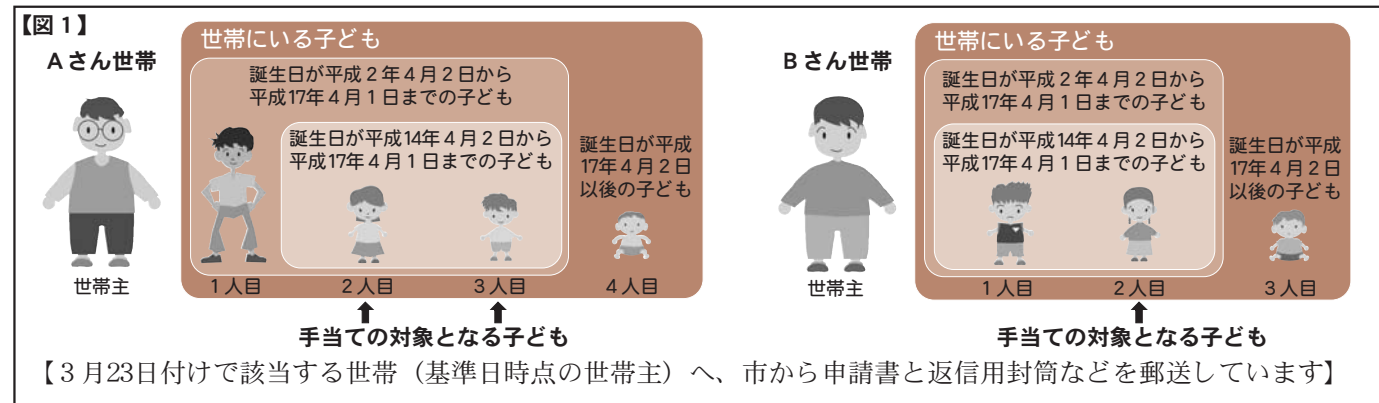
◎子育て応援特別手当とは？

子育て応援特別手当は、多子世帯の子育てにかかる負担に配慮した国の「生活対策」の一環で、小学校就学前3年間（平成14年4月2日～17年4月1日生まれ）の第2子以降の児童に対して手当を支給することによって、家庭における安心の確保を図ることを目的としています。この手当は平成20年度限りの緊急措置として実施されます。

◎交付の対象となる児童の範囲

平成14年4月2日～17年4月1日生まれの第2子以降の児童で【図1】、下記のいずれにも該当する場合。

- ①第2子以降の児童
- ②3歳以上18歳以下（平成2年4月2日～17年4月1日生まれ）の児童が2人以上いる世帯
- ③平成21年2月1日（基準日）現在、住民登録にまたは外国人登録がある人
※外国人は外国人登録がある人で、正規在留者に限り（短期滞在の在留資格を除く）。



◎交付対象者

交付申請の対象者は、原則として交付対象児童と同居している世帯の世帯主ですが、世帯主から委任された家族でも代理申請・受給できます。

【例えば、家族で相談の上、世帯主である祖父から交付対象児童（孫）の父や母に申請委任した場合は、世帯主以外の家族（交付対象児童の父や母）でも申請・受給することができます】

◎交付額および交付方法

交付額は対象となる児童1人当たり36,000円で、交付方法は口座振込が原則です。申請書受理から口座への振り込みまで1カ月程度を要します。

◎郵便申請の受付期間

あらかじめ送付された返信用封筒で、9月28日（月）まで提出してください（当日消印有効）。

【申し込み・問い合わせ】 福祉事務所子育て支援課 児童福祉係 ☎0220 (58) 5562

子育て応援特別手当の交付を装った振り込め詐欺にご注意を！

- 子育て応援特別手当の交付を装った「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください。
- ▶市役所や国・県などの公的機関がATM（銀行、コンビニなどの現金自動預払機）の操作をお願いすることは、絶対にありません。
 - ▶ATMを自分で操作して、他人からお金を振り込んでもらうことは、絶対にできません。
 - ▶市役所や総務省などが「子育て応援特別手当」給付のために、手数料などの振り込みを求めるとは、絶対にありません。

【問い合わせ】 最寄りの警察署または福祉事務所子育て支援課 児童福祉係 ☎0220 (58) 5562

地域の発展へ広がる夢



三陸自動車道 登米インターチェンジ開通！

【登米市の高速ネットワークがさらに前進】

—昨年6月の三陸自動車道桃生津山IC（インターチェンジ）の供用開始に続き、桃生津山ICから登米IC間の9.6kmが3月22日に開通し供用が開始されました。

今回の開通によって、地域間交流の拡大や地域産業の振興、救急医療時の緊急アクセス、防災ネットワークの形成など、さまざまな面での効果が大いに期待されます。

また、登米ICに接続する、主要地方道中田栗駒線および市道登米インター線も3月19日に供用を開始しました。

■三陸自動車道「フリーウオーキング」&「開通式」



①景色を楽しみながら三陸道をウォーキングする参加者
②石森打ちばやし保存会の開会アトラクション
③代表者によるテープカットが行われ、希望の登米ICが開通

開通前日の3月21日に、開通記念イベント「ハイウエーフリーウオーキング」が開催され、大勢の人が参加しました。コースは三陸道鴫波トンネルからスタートし、桃生津山ICまでの約3kmで、参加者は三陸道からの景色を楽しみながら歩いていました。

また、3月22日には開通式が行われ登米インターチェンジが正式に開通。式では大勢の来賓が見守る中、各代表者によってテープカットが行われ、記念風船が大空に放たれました。その後行われた記念パレードでは、石森打ちばやし保存会やとよま囃子保存会のアトラクションなどが披露され、会場は完成を祝う華やかな雰囲気になっていました。また、午後3時から是一般車の通行が始まり、多くの人が新しい高速道路でのドライブを楽しみました。

■トンネル災害に万全の備え！「鴫波トンネル防災訓練」

トンネル内での事故発生を想定した防災訓練が3月10日、鴫波トンネル（豊里）で行われました。

訓練には、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所をはじめ、宮城県警察本部、高速警察隊、市消防本部・消防署など多くの関係機関が参加し、トンネル内での多重衝突事故によって火災が発生し、多数の人が負傷したという想定で訓練が行われました。

非常電話からの119番通報訓練や迂回路・通行止めなどの交通規制実施訓練、負傷者の救出・救助・救急訓練などが行われ、参加者はそれぞれ訓練に取り組みました。

鴫波トンネルには、火災検知器や消火器が等間隔で設置されているほか、非常電話はトンネル内の6カ所に設置されています。



①消火器を使った初期消火訓練
②高速道路交通警察隊などによる交通規制実施訓練
③救助器具を使用して乗用車の下敷きになった重症者の救出訓練